

例 言

1. 本書は科学研究費（学術研究助成金（若手研究B））の交付を受けて実施した「三次元計測による飛鳥時代の石工技術の復元的研究」（課題番号：23720396）に関する研究成果報告書である。

2. 研究経費	平成 23 年度	直接経費	475,961 円	間接経費	240,000 円
	平成 24 年度	直接経費	1,039,782 円	間接経費	240,000 円
	平成 25 年度	直接経費	371,873 円	間接経費	210,000 円
	平成 26 年度	直接経費	1,012,384 円	間接経費	180,000 円
	合 計		2,900,000 円		870,000 円

3. 研究成果 本書（下記 4 の発表論文のうち、一部は本書と重複する部分がある）

4. 研究発表 廣瀬 覚 2011 「石槨構築技術からみた高松塚古墳」奈良文化財研究所第 108 回公開講演会（口頭発表）

廣瀬 覚 2012 a 「香芝市平野塚穴山古墳石槨の 3 次元レーザー測量調査」『奈良文化財研究所紀要 2012』

廣瀬 覚 2012 b 「構築技術からみた高松塚古墳の横口式石槨」『文化財論叢Ⅳ』奈良文化財研究所学報第 92 冊

廣瀬 覚 2013 「飛鳥藤原地域出土基壇外装石の三次元計測」『奈良文化財研究所紀要 2013』

廣瀬 覚 2014 「飛鳥時代の石工技術と高松塚古墳」第 236 回「あすか塾」セミナー（口頭発表）

5. 本研究に関わる三次元レーザー計測は、（株）共和の協力を得て実施した。

6. 本書における石材加工技法の名称は、和田晴吾 1991 「石工技術」『古墳時代の研究』第 5 巻 雄山閣に準拠する。

7. 本研究遂行にあたっては、下記の方々および関係機関から多大なるご協力を賜った。記して感謝の意を表します。

相原嘉之、有井宏子、伊藤聖浩、河内一浩、西光慎治、下大迫幹洋、高野 学、西口壽生、野口眞戒、明日香村教育委員会、大阪府教育委員会、香芝市教育委員会、財務省近畿財務局奈良財務事務所、野中寺、羽曳野市教育委員会（敬称略、五十音順）